

一位ヶ岳

学校だより 令和3年度9月号
長門市立**俵山**小学校



<チャレンジ目標>地域に私たちの元気を届けよう 何ごとにもチャレンジしよう

学校評価アンケートの結果報告

第1回学校評価アンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。ここに、アンケートの結果から考察し、学校運営協議会へ報告したことを掲載します。

令和3年度長門市立俵山小学校第1回学校評価アンケート

- 1 実施時期：令和3年7月上旬
- 2 対象：児童、保護者、教職員、地域住民（学校運営協議会、俵山地域関係機関、学校ボランティアの皆様など）
- 3 質問内容及び集計結果：
俵山小学校ホームページに掲載していますのでご覧ください。

4 考察と今後の取組など [○成果、▲課題、★今後の取組]

(1) ～知～ 授業や家庭学習、読書など

- 児童は、授業中に進んで考えたり、発表したり、話をしっかりと聞いている。家庭でも学習や読書を大半がしている。
- 教職員は、概ね肯定的であるが、評価「そう思う」が少ない。
- ▲保護者によれば、家庭学習や読書をしている児童は6割程度にとどまる。
- ★授業では考えたり、発表をしたりする場面を増やす。少人数学級の強みを生かしていく。家庭学習や読書の習慣が定着するように取組を工夫する。

(2) ～徳～ あいさつ、いじめ根絶、係活動、将来の夢など

- 児童は、あいさつや笑顔で人に接したりすることについて、100%の肯定率である。きまりや約束を守ること、係活動や掃除などの規律ある生活についても100%の肯定率である。
- 「夢や目標」について、児童は100%の肯定率に対して、保護者や教職員は半数程度の認識である。
- ▲保護者や教職員、地域住民は、児童のあいさつや生活習慣については、肯定率90%を超えるが、「意見を堂々と言えるのに物足りなさを感じる」など一部に否定的な意見がある。
- ★「あいさつ」や人との接し方から、児童一人ひとりの変化を見逃さないように情報共有をしていく。いじめがないように、継続した指導を続ける。

(3) ～体～ 生活習慣、運動、健康面など

- 「手伝い」、「早寝・早起き・朝ごはん」、「外遊び」について、児童は、90～100%の肯定率である。低学年から高学年まで、ほとんどの児童が休み時間には外で体を動かしている。規則正しい生活習慣もほとんどの児童が身に付いている。
- ▲保護者や教職員、地域住民は、児童のあいさつや生活習慣については、肯定率90%を超えるが、「堂々と意見を述べたりすることが物足りない」など一部に否定的な意見がある。

★寒い時期に向けても、春から夏にかけての望ましい生活習慣が継続するようにする。
新型コロナウイルス対応についても、マスクをつけたり外したりする場面を徹底しながら、運動することを奨励していく。

(4) ～特色ある教育活動～ 子ども歌舞伎、水田耕作、地域と連携した活動など

○児童は、体験学習や、伝統的な文化の学習について、100%の肯定率である。教職員も現在の体験学習や地域と連携した学習が有効であると考えている。

★地域と連携した、体験活動や、伝統的な学習、ふるさとを愛する心を育む教育活動を継続する。

(5) 総括

児童、保護者、教職員、地域住民のほとんどのアンケート項目に対して、肯定的な回答が90～100%でした。このことから、これまでの教育活動を継続的に行っていくこと、深化させていくことが肝要であることが考えられます。

一方で、家庭での学習への取組やあいさつなど、一部の項目について否定的な意見が見受けられます。このような項目について、教職員が意識しながら取り組んでいく必要があると考えています。

第2回学校評価アンケートは令和4年1月に実施する予定です。

サマースクールを実施しました。

7月に3日間、8月に2日間のサマースクール(学校での勉強会)を実施しました。

おもに、国語や算数の一学期の復習を行いました。本校の卒業生である深川中学校の生徒さん延べ8名も指導に加わっていただきました。



第2回学校運営協議会を実施しました。

7月21日に、今年度第2回目の学校運営協議会を実施しました。今回は、委員さんに加えて、本校の教職員全員も参加し、学校評価アンケートの結果を共有したり、「地域連携教育ビジョンについて」熟議を行ったりしました。

9月の詩

転校生

金子みすゞ

よそから来た子は
かわいい子、
どうすりゃ、おつれに
なれよかな。

おひるやすみに
みていたら、
その子は桜に
もたれてた。

よそから来た子は
よそ言葉、
どんな言葉で
はなそかな。

かえりの路で
ふと見たら、
その子はお連れが
出来ていた。

出典『金子みすゞ全集』

JULA出版局